ステークホルダーエンゲージメント

昭和産業グループでは、各ステークホルダーに向けた情報開示と、様々な場面における対話を進めています。経営の透明性を高めることでステークホルダーからの信頼を得るとともに、当社グループのユニークなビジネスモデルに対する皆様のご理解を一層深めていただくことを目指し、対話の機会の増加や適時・適切な情報開示をこれまで以上に進め、パートナーシップをさらに推進します。

中期経営計画23-25「ステークホルダーエンゲージメントの強化」

適切な情報開示をタイムリーに行い、ステークホルダーの皆様との対話を推進することで信頼向上に努めます。さらに、双方向のコミュニケーションを促進し、ステークホルダーや社会からの期待や懸念を把握し、社会的責任を果たすための取り組みを進めていきます。

▶ ステークホルダーエンゲージメントの強化施策

従業員

- **D＆Iのドラスティックな推進**
  - 「ダイバーシティ経営宣言」・「健康宣言」の実践
  - 各種アンケートの実施、フォーラム・交流会等の開催
- **戦略的人財育成の促進**
  - 人事制度の運用（上司と部下の四半期面談の実施等）
  - キャリアデザイン面談の運用
- **従業員エンゲージメントの向上**
  - エンゲージメントサーベイの実施（1回／年）
  - インナーブランディングの強化
- **健全な労使関係の継続**
  - 定期的な対話機会の提供

お客様・お取引先

- **事業シナジーを追求した営業体制への進化**
  - 業態別・顧客別ワンストップ型営業組織への変革
- **「消費者志向自主宣言」の実践**
  - 安全で高品質な製品・商品の提供
  - お客様相談センターによる対話、お客様の声を活かした商品開発
- **サステナビリティ調達の実現**
  - 取引先に対してアンケートや面談実施（人権、自然環境、労働環境等）
  - サプライチェーンマネジメントの実施
- **情報発信力の強化**
  - SNSによる積極的な発信
  - コーポレートサイトのリニューアル

株主・投資家

- **継続的、安定的な利益還元**
  - 長期的に安定した配当の継続
- **個人株主、国内外の機関投資家へのIR強化**
  - 株主戦略に基づくIR推進
  - 株主アンケートの実施、株主通信の制作
  - IR説明会（決算説明会、個人投資家向け説明会等）の開催
  - 決算報告書等の英文開示の充実
  - 統合報告書の品質向上
- **トップとの対話機会の提供**

地球環境・地域社会・NGO／NPO

- **「サステナビリティ基本方針」の実行**
  - 1）脱炭素社会の実現
  - 2）水資源の有効活用
  - 3）食品ロスの削減
- **国内外のイニシアチブへの賛同**
  - TCFD提言に沿った情報開示
- **事業所周辺での地域貢献・交流の継続**
- **「穀育」の取り組み促進**
- **NPOと連携した「食の提供」**
  - WFPやフードバンクを通じた支援

ステークホルダーとの対話

全てのステークホルダーに、当社グループが目指す方向性をより深くご理解いただくことを目的として、IR活動を推進しています。対話の中でいただいた様々なご意見やご要望は、当社グループの企業活動に反映していくとともに、穀物を通じてお客様の課題を解決する「穀物ソリューション・カンパニー」としての価値の創出につなげていきます。

主なステークホルダー	ステークホルダーからの関心・期待	エンゲージメント向上施策の成果・影響
従業員	• 人事制度の適切な運営 • エンゲージメント・働きがいの向上 • 働きやすい職場 • 人財育成、教育 • D&I（ダイバーシティ＆インクルージョン） • 人権尊重 • ワーク・ライフ・バランスの推進	▶ 施策は左ページの通り • 「マルチステークホルダー方針」制定 https://www.showa-sangyo.co.jp/corporate/sustainability/showasangyo/stakeholder/ • 昭和産業健康宣言 • 女性管理職比率9.6%（2024年4月1日現在） • 「えるぼし（2つ星）」2021年取得
お客様・お取引先	• 安全・安心で高品質な製品の安定的な供給 • 多様な穀物を取り扱う強みを生かした提案 • 公正な事業慣行、商取引 • 協働による品質向上	▶ 施策は左ページの通り • 「マルチステークホルダー方針／パートナーシップ構築宣言」制定 https://www.showa-sangyo.co.jp/corporate/sustainability/showasangyo/stakeholder/
株主・投資家	• 適切な情報開示 • 透明性の高い経営 • 継続的、安定的な利益還元 • 個人株主、国内外機関投資家へのIR強化 • トップとの対話機会の提供 • 企業価値の向上	▶ 施策・実績は左ページおよび下表の通り
地球環境・地域社会・NGO/NPO	• 国内外のイニシアチブへの賛同 • NPOと連携した「食の提供」 • 誠実な対話と活動 • CO_2排出量削減、廃棄物削減 • 再生可能エネルギーの利用 • 工場・拠点周辺地域への貢献・交流	▶ 施策は左ページの通り • 工場見学の活性化（コロナ禍回復後） • 各事業所における地域社会との継続的対話

IRに関する活動状況（2023年度）

「フェア・ディスクロージャー・ルール」に則り、速やかな開示を行うことを基本姿勢とし、正確かつ迅速、積極的に情報を提供することで、ステークホルダーの皆様のご要望にお応えしていきます。

活動	実績	内容
アナリスト向け決算説明会	2回	機関投資家やアナリスト向けに、5月（4Q）、11月（2Q）に決算や取り組み内容などをご説明。
アナリスト向け工場見学会	1回	当社主力の鹿島工場（サイロや岸壁、製造工程等）をご案内。
アナリスト向け個別IR	29回	機関投資家や証券アナリスト向けに、都度、事業内容や決算、取り組み内容などをご説明。
個人投資家向け会社説明会	1回	個人投資家向けに、事業内容やビジネスモデル、株主還元などをご説明。
大株主向け個別決算説明	5回	個別に5月（4Q）に決算や取り組み内容などをご説明。